



医学部総合薬学科* 出身

杜野 亜希 さん

漫画家

*現 薬学部薬学科

もりのあき / 広島県出身。1987年、広島大学医学部総合薬学科在学中に『ニセアカシアの魔法使い』で漫画家デビュー。その後1989年に同大学を卒業。『神林&キリカシリーズ』『屍活師 女王の法医学』など代表作多数。

好奇心の赴くまま。 「好き」を詰め込んだ学生時代

私の漫画家としての人生は、広島大学の在学中に始まりました。学部1年生の時に大手出版社の短編の賞、3年生の時に長編の賞を受賞した後、デビュー。ちょうど学部の専門科目が本格化する時期で、漫画のネームと学業に追われる毎日を過ごしましたね。

その一方で、学生生活も満喫していました。テニス部で汗を流したり、アルバイトで家庭教師をしたり、ジャズダンスを習ったり……。興味のあることにはなんでも挑戦したのですが、中でも印象に残っているのが広島大学のイラストマンガ同好会です。同好会で、私は部員の画力向上のための「お絵かき会」の担当を

一年間務めていました。本来は文章でお題を告知するだけの役目だったのですが、思いのほか筆がのってしまい、漫画形式で連載していたのは良い思い出です。同好会には、とだ勝之先生やこの史代先生など、後の著名な漫画家の方も在籍されており、卒業後も自身の作品作りにとっても良い刺激になっています。

広島大学の知を最大限に 生かした代表作『屍活師』

私の代表作『屍活師 女王の法医学』は、広島大学に大きな影響を受けた作品の一つです。法医学がテーマなのですが、作品の構成づくりには、学部時代に学んだ医療分野の基礎が役立ちました。また、細かい医療考証は、広島大学医学部出身で、漫画研究会のかつての先輩で

もある先生にご協力いただきました。医療に関する専門知識はもちろん、漫画制作への理解もお持ちなので、作品としての面白さとリアリティを高い水準で両立させることができました。実写ドラマにもなり、多くの人に楽しんでいただいています。現在は連載を少しお休みし、新作を構想中。これからも人々を引き付ける作品を作り続けたいと思います。

心に響いた人生の名言

あなたが将来どのような道へ進もうとも、積み上げた努力は無駄にならない。幼少期に習っていたバレエの先生からいただいたこのメッセージは、今でも人生の選択に迷った時の指針になっています。